

2025年度 学外講座一覧

講座No.	講座テーマ	担当教員	ページ
【法学部 提供講座】			
No.1	大人のための法律入門	伊達 竜太郎	01
No.2	SDGs／ESG時代における企業と法	伊達 竜太郎	01
No.3	沖縄の経済政策と法～沖縄経済特区と沖縄振興特別措置法の概要など～	伊達 竜太郎	01
No.4	第二次トランプ政権が変える世界－私たちはどう向き合うのか？	佐藤 学	02
【経済学部 提供講座】			
No.5	マラリアの環境史－宮古・八重山を中心に－	崎浜 靖	03
No.6	地理学の視点から読み解く米軍基地問題	崎浜 靖	03
No.7	「南洋群島」における沖縄移民の特性	崎浜 靖	03
No.8	学校教育における部活動の役割	崎浜 靖	04
No.9	すすむ教育改革～令和時代の学校づくりの考え方と進め方～	照屋 翔大	04
No.10	沖縄の振興開発と振興予算－沖縄振興予算とは何か？－	比嘉 正茂	04
No.11	地方自治体の政策評価－現状と課題－	比嘉 正茂	05
No.12	沖縄振興の組織と制度の構造について～沖縄振興予算を巡る政治経済学～	宮城 和宏	05
No.13	琉球・沖縄史入門	宮城 和宏、他	05
No.14	沖縄における共同(売)店の過去、現在そして将来 －持続可能な組織のあり方を英国の事例から学び取る－	村上 了太	06
No.15	ヨーロッパ公企業論 ～タバコ事業を中心に～	村上 了太	06
No.16	沖縄国際大学キャリア教育科目群の役割	村上 了太	06
No.17	持続可能な観光と宿泊施設の環境保全対策	上江洲 薫	07
No.18	「地域」と「時代」を映す「感性」の記録としての文学 －フランスの童話『星の王子さま』をめぐる－	上江洲 律子	07
No.19	地図から見る沖縄の自然と人々の暮らし	小川 護	07
No.20	日本復帰以降の沖縄における耕種農業の変容とこれからの展望	小川 護	08
No.21	海はだれのものなのか	呉 錫畢	08
No.22	韓国(済州島)から沖縄の未来を探る ～沖縄経済の自立に向けて～	呉 錫畢	08
No.23	干潟における環境・経済と地域発展～沖縄、日本、韓国を事例として～	呉 錫畢	09
No.24	パリ協定と海洋圏沖縄のグリーンビジネス可能性	呉 錫畢	09
No.25	沖縄のサンゴ礁の価値から真の豊かさを探る	呉 錫畢	09
No.26	土の中の生き物と、生態系の話	齋藤 星耕	10
No.27	DNAから調べる生物多様性：自然環境からお腹の中まで	齋藤 星耕	10
No.28	親子で学ぼう！高校生のためのキャリア入門	島袋 伊津子	10
No.29	南西諸島の軍事要塞化に係る環境アセスメントの課題	砂川 かおり	11
No.30	島嶼村落における意識行動と環境配慮行動の違い	渡久地 朝央	11
No.31	万人(うまんちゅ)で考える「琉球・沖縄独立論」！ ～平和・自由・平等の視点から～	友知 政樹	11

2025年度 学外講座一覧

講座No.	講座テーマ	担当教員	ページ
【経済学部 提供講座】			
No.32	カタルーニャにおける市民運動の歴史と成果 ～カタルーニャ独立運動の視点から～	友知 政樹	12
No.33	沖縄から全ての「基地」がなくなったら沖縄経済はどうなるか？	友知 政樹	12
No.34	ゲームの理論で考える環境問題・エネルギー問題	友知 政樹	12
No.35	COVID-19の数理モデル ～SIIRモデル：感染拡大と無発症感染者の役割～	友知 政樹	13
No.36	あんやたん！沖縄の貝 ～貝類利用の移り変わり～	山川 彩子	13
No.37	沖縄島の打ち上げ貝から何がわかる！？	山川 彩子	13
No.38	沖縄県の海岸環境とその役割	山川 彩子	14
No.39	琉球列島の浜辺から ～海岸ゴミとマイクロプラスチック～	山川 彩子	14
No.40	南の海の砂のおはなし	山川 彩子	14
No.41	沖縄のサンゴ礁漁業 ～電灯潜り漁って何！？～	山川 彩子	15
No.42	沖縄の夏の浜辺の恐怖 ～ハブクラゲについて知ろう～	山川 彩子	15
No.43	奄美大島の浜辺から ～海岸ゴミとマイクロプラスチック～	山川 彩子	15
【産業情報学部 提供講座】			
No.44	観光客から移住者へ、沖縄をマーケティングする	小原 満春	16
No.45	マーケティングと行動経済学入門	小原 満春	16
No.46	総合型地域スポーツクラブを考える	慶田花 英太	16
No.47	生成AIを活かす！仕事・学習の効率を上げる実践活用法	小渡 悟	17
No.48	ゲームを活用した地域振興 - eスポーツ・位置情報ゲーム -	小渡 悟	17
No.49	バーチャルリアリティで観光体験－観光産業でのVRを用いた事例紹介－	小渡 悟	17
No.50	AR(拡張現実感)・MR(複合現実感)による観光サポート	小渡 悟	18
No.51	スクラッチで楽しく作るゲームプログラミング入門	小渡 悟	18
No.52	STEM教育入門講座－VUCA時代にどのように対応するのか－	小渡 悟	19
【総合文化学部 提供講座】			
No.53	琉球芸能に学ぶ(実演・解説・体験)	田場 裕規	20
No.54	万葉を心の糧に ～歌に親しむ・古典に学ぶ～	田場 裕規	20
No.55	しまくとぅばの文芸作品にふれてみよう	西岡 敏	20
No.56	うちなーぐち入門	西岡 敏	21
No.57	沖縄文学入門	村上 陽子	21
No.58	現代沖縄の文学	村上 陽子	21
No.59	波乱万丈！愛と野望が交錯する四大奇書と『紅樓夢』－中国古典小説の世界へ！	劉 森	22
No.60	ジャズの歴史	萩埜 亮	22
No.61	ハリウッド恋愛映画の歴史と魅力	萩埜 亮	22

2025年度 学外講座一覧

講座No.	講座テーマ	担当教員	ページ
【総合文化学部 提供講座】			
No.62	ペーパーバックを原書で読もう	萩埜 亮	23
No.63	文化人類学入門	石垣 直	23
No.64	台湾の歴史と文化	石垣 直	23
No.65	「先住民族運動」とは何か	石垣 直	24
No.66	感染症からみる日本の歴史	市川 智生	24
No.67	子どもの「学力」を考える	藤波 潔	24
No.68	「探究的な歴史学習」とは何か	藤波 潔	25
No.69	「記録」の重要性を考える	藤波 潔	25
No.70	「キャリア教育」とは何か	藤波 潔	25
No.71	探求学習をデザインする	藤波 潔	26
No.72	掘ればわかる沖縄の歴史	宮城 弘樹	26
No.73	考古学が明らかにするグスクの実像	宮城 弘樹	26
No.74	「障害」とは何か？～障害学の視点から考える～	岩田 直子	27
No.75	北欧の障害者福祉政策 ～個人の暮らしを支える仕組み～	岩田 直子	27
No.76	ヒットソングと映画でたどる非行と福祉の昔と今	萩野 太司	27
No.77	避難所運営ゲームで学ぶ災害福祉と共生	萩野 太司	28
No.78	司法統計から学ぶ沖縄県の犯罪と刑罰	萩野 太司	28
No.79	沖縄国際大学におけるソーシャルワーカー養成と研究	萩野 太司	28
No.80	更生保護ゆんたく(犯罪学カフェ)	萩野 太司	29
No.81	“うつ”にもいろいろありまして… 学校・職場のメンタルヘルスと自殺予防 【メンタルヘルスの基本編】	片本 恵利	29
No.82	“うつ”にもいろいろありまして… 学校・職場のメンタルヘルスと自殺予防 【実践編】	片本 恵利	29
No.83	「この子、何考えてるのかしら？」～今日の沖縄を生きる少年少女のころ～ 【基本編】	片本 恵利	30
No.84	「この子、何考えてるのかしら？」～今日の沖縄を生きる少年少女のころ～ 【実践編】	片本 恵利	30
No.85	恋愛と結婚の心理学～私もパートナーも笑顔になれるヒント～ 【基本編】	片本 恵利	30
No.86	恋愛と結婚の心理学～私もパートナーも笑顔になれるヒント～ 【実践編】	片本 恵利	31
No.87	こどものころが見えてくる講座	片本 恵利	31
No.88	職場・学校のためのメンタルヘルス講座	知名 孝	31
No.89	発達障害児者支援のこれまでとこれからを考える	知名 孝	32
No.90	「サザエさん」から考える家族の「奇々」と「危機」	桃原 一彦	32
No.91	「ヘイトスピーチ」から考える「不安」な時代の処世術	桃原 一彦	32
No.92	心理学研究法入門	前堂 志乃	33
No.93	どうする、どう考える沖縄の学力 ～島を育てる学力をめざして～	三村 和則	33

2025年度学外講座一覧

講座No.	講座テーマ	担当教員	ページ
No.94	創造性を高めるにはどうしたら良いか？	山岡 明奈	33

2025 年度 学外講座一覧

【法学部 提供講座】

No. 1	大人のための法律入門 法学部 法律学科 教授 伊達 竜太郎（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	法律を学ぶことは、職業選択をする場合に、「公務員に強い」・「企業に強い」・「資格に強い」と言えます。法律を知ることで、うまく日常生活を過ごすこともできます。 また、皆さんは、スポーツをしていますか？たとえば、バスケやサッカーなどのルールを知らないで、バスケなどの諸活動を行うのが難しいことと同じく、法律を知らないで、日常生活を過ごすとうなるのでしょうか？ この講座では、具体的な事例（成人年齢の引き下げ・契約・結婚・恋愛・会社設立・国際案件など）を想定して、一緒に学んでいきましょう。

No. 2	SDGs／ESG 時代における企業と法 法学部 法律学科 教授 伊達 竜太郎（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	私達が生きる現代社会において、「企業」は人々の生活と密接に関係しています。 スーパーやコンビニでお菓子やジュースを買う、アルバイトや就職をするなど、企業との深い関わりがあります。また、「企業」と関係する「法」も、民法・会社法・金融商品取引法・独占禁止法・国際取引法など、数多く存在します。 この講座では、SDGs／ESG 時代における企業法や世界情勢による企業への影響や、中小企業の後継者と事業承継などの問題も取り上げながら、「企業と法」について解説します。

No. 3	沖縄の経済政策と法～沖縄経済特区と沖縄振興特別措置法の概要など～ 法学部 法律学科 教授 伊達 竜太郎（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	この講座では、「沖縄の経済政策と法」というテーマのもとで、日本や海外の動向なども参考にしながら、最近、沖縄で話題になっているトピックについて考えてみたいと思います。 「沖縄の法」というものは、あまり存在していないと言われますが、沖縄独自の法として、沖縄振興特別措置法があり、沖縄経済特区などの沖縄の経済政策の根拠法になっています。 この講座では、SDGs／ESG 時代における沖縄経済特区と沖縄振興特別措置法の概要から解説し、沖縄北部テーマパーク計画や世界情勢による沖縄への影響などの現代的なトピックも交えつつ、皆さんと情報を共有したいと思います。

2025 年度 学外講座一覧

【法学部 提供講座】

No. 4	第二次トランプ政権が変える世界—私たちはどう向き合うのか？ 法学部 地域行政学科 教授 佐藤 学（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	トランプ大統領が返り咲き、米国は、国内、国外で激的な政策・方針転換を進めています。その基本は、米国が第二次世界大戦後に掲げてきた「リベラルな世界秩序」を、政治、経済の両面で、自ら破壊することと、国内ではニューディール政策から続いてきた政党体制を完全に崩し、人権、言論の自由、法の支配、環境、という、米国社会で重要なはずであった価値を正面から否定することです。 この講座の時点で、どのようなになっているかの予測は困難ですが、最新の状況を基に考えたいと思います。

2025 年度 学外講座一覧

【経済学部 提供講座】

No.5	マラリアの環境史－宮古・八重山諸島を中心に－ 経済学部 経済学科 教授 崎浜 靖（実施方法：対面）
	日本国内で最もマラリアによる被害を受けてきた地域として、宮古・八重山諸島が挙げられます。琉球王国時代から戦後（1960 年頃）までの長期間、マラリアと対峙した歴史があります。 マラリアは、病原体であるマラリア原虫が、媒介蚊（ハマダラカ）を通して、ヒトに感染する。発熱や倦怠感・悪寒などで重症化すると、死に至ることもあります。本講座では、琉球・沖縄の歴史的状況を踏まえて、ハマダラカが蔓延したマラリア有病地における地理的環境と住民の生活史を解説します。

No.6	地理学の視点から読み解く米軍基地問題 経済学部 経済学科 教授 崎浜 靖（実施方法：対面）
	日本に駐留する米軍基地の 70%が沖縄県に集積しています。本講座では、沖縄に米軍基地が集中した歴史的過程を踏まえ、地図資料や空中写真などの地理情報を活用しながら、米軍基地の集積がもたらす危険性について解説します。その際、戦後の中部地域における都市化による歪（いびつ）な都市構造の問題点を検討し、那覇市・北谷町・読谷村などの返還跡地にみる土地利用の特性についても解説します。

No.7	「南洋群島」における沖縄移民の特性 経済学部 経済学科 教授 崎浜 靖（実施方法：対面）
	「南洋群島」とは、赤道以北にあるミクロネシア地域の別称です。とくにサイパン、テニアン、パラオなどの島々では、多くの沖縄県人（ウチナーンチュ）が移住し、1942（昭和 17）年には 5 万 4000 人余の人口を数え、日本人移住者全体の約 6 割を占めていました。本講座では、日本統治時代の「南洋群島」の歴史を解説し、ミクロネシア地域とこれからの友好関係を築くための施策についても考えたいと思います。

2025 年度 学外講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 8	学校教育における部活動の役割 経済学部 経済学科 教授 崎浜 靖（実施方法：対面）
	教員の多忙化が進む中で部活動運営に負担を感じる教員が増え、「ブラック部活」という言葉も耳にするようになりました。さらに働き方改革の中で、学校教育における部活動の在り方について議論する場も増えております。 本講座では、部活動の「負の部分」を直視した上で、人間形成の場としての部活動の役割について検討します。その際、講師自身の中学・高校での競技経験、県立高校教諭としての部活動指導歴、大学での顧問経験と教師教育（社会科・地歴科）担当者としての立場から、学校教育における部活動の役割について、受講生とともに考えてみたいと思います。

No. 9	すすむ教育改革～令和時代の学校づくりの考え方と進め方～ 経済学部 経済学科 教授 照屋 翔大（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	日本の学校教育は現在大きな転換にあり、「令和の日本型学校教育」の実現を目標にした大改革が進行しつつあります。その特徴として、学校で働く先生方だけでなく、保護者や地域住民一人ひとりの理解と協力を得ながら進められる学校づくりだという点があげられます。本講座では、学校が今後どのように姿を変え、子どもたちの学びを豊かにしようと考えているのかについて、受講者自らの経験も振り返りながら考えてみます。また本講座は、地域の方々はもちろんですが、学校現場での研修のお手伝いも視野に含んでいます。受講者の関心に寄り添いながらテーマの詳細を決定したいと思います。

No. 10	沖縄の振興開発と振興予算－沖縄振興予算とは何か？－ 経済学部 経済学科 教授 比嘉 正茂（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	離島振興法や山村振興法等にみられるように、戦後わが国における地域政策の政策主体は国であり、政策を実施するための財源については「国庫支出金」が用いられてきた。現在、沖縄県では「沖縄振興特別措置法」に基づき振興策が実施されているが、その振興策を実施するための財源も「国（中央政府）から地方自治体（沖縄県）への補助金」である国庫支出金を中心である。こうしたことから、本講座では、はじめに国と地方の財政関係を概観し、その後沖縄振興予算の中心を成す「国庫支出金」に焦点をあてて、沖縄の振興開発と振興予算の関係を検討する。

2025 年度 学外講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 11	地方自治体の政策評価－現状と課題－ 経済学部 経済学科 教授 比嘉 正茂（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	地方自治体における「行政評価」の導入や「事業仕分け」の実施にみられるように、近年は県や市町村が実施する事業について、その有効性を客観的に評価・検証しようという動きが活発化している。 本講座では、県内外の地方自治体の事例研究を通じて「自治体の政策評価の現状と課題」を明らかにする。また、政策評価の手法として近年注目されている包絡分析法（DEA）を紹介するとともに、実際に DEA を使った分析結果を示しながら、政策評価の課題や今後の展望について検討する。

No. 12	沖縄振興の組織と制度の構造について～沖縄振興予算を巡る政治経済学～ 経済学部 経済学科 教授 宮城 和宏（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	1972 年より半世紀に渡り沖縄振興（開発）特別措置法及び沖縄振興（開発）計画に基づき沖縄振興が続けられてきました。2022 年度からは特別措置法が改正され、新たな振興計画の基で引き続き 10 年間の期間で振興が行われることになります。 この講座では、これまで続けられ、今後も続く沖縄振興の組織上、制度上の特徴、課題、今後の方向性について一緒に考えていきたいと思います。

No. 13	琉球・沖縄史入門 経済学部担当教員（宮城和宏・小濱武・前泊博盛・友知政樹） （実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄県は、その地理的・自然的環境のみならず、歴史や文化という点でも日本本土とは異なる独自のものを有しています。本講座では、なぜ琉球・沖縄史を学ぶのかを検討し、そのトピックの一部を紹介します。その上で、琉球・沖縄史をどのように学んでいけばよいのか、考えてみたいと思います。 ※この講座は担当教員が 4 名おり、日程調整の時点で対応可能な教員を 1 名選出致します。 ※申込書の担当講師欄への記載は不要です。

2025 年度 学外講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 14	沖縄における共同（売）店の過去、現在そして将来 —持続可能な組織のあり方を英国の事例から学び取る— 経済学部 経済学科 教授 村上 了太（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄県や鹿児島県には、集落出資の共同店が存在します。〇〇村字□□の□□の方々（全世帯や主要など様々な事例があります）が出資し、経営し、労働する組織です。古くは 1906 年まで遡れるほど、沖縄のユイマールを体現した組織でもあります。 本講座では、いくつかの事例を踏まえながら、諸特徴を比較検討し、将来の姿を考えていくことを目的としています。なお、本土復帰までは、生産、購買、販売、信用などの複数の事業が営まれていましたので共同店と指摘できますが、販売事業に事業が狭められたことから、共同「売」店化していきました。本講座に関連する文献もご紹介させていただきますので、ともに学んでいきましょう。

No. 15	ヨーロッパ公企業論 ～タバコ事業を中心に～ 経済学部 経済学科 教授 村上 了太（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	1985 年 4 月に電電公社と専売公社が、それぞれ NTT と JT に改組された。また 87 年には国鉄が JR に改組された。 1980 年代における一連の三公社民営化の今日的意義とはどこに求められるのだろうか。 本講座は、専売公社民営化の事例とヨーロッパとの比較を試みることに目的である。明治以降日本政府は、タバコ事業の模範をフランスやオーストラリア、第二次世界大戦後の公社化に際してはイギリスにそれぞれ求めてきた。ヨーロッパのタバコ専売の 6 つの事例を取り上げながら「民」と「官」の役割を考えてみたい。

No. 16	沖縄国際大学キャリア教育科目群の役割 経済学部 経済学科 教授 村上 了太（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	2014 年度より沖縄国際大学の共通科目に「キャリア教育科目群」が新設されました。本科目群の設置目的は、本学には 1 年間に数百人の退学者・除籍者、さらには数百人の学生が無業者として毎年卒業しているという現実を少しでも改善することにあります。こうした現実の数字をまずは把握し、大学の正課の授業の段階から課題として取り上げ、解決の糸口を見つけ出していきます。本講座もエッセンスとして内容を凝縮しつつ、構成されている科目（キャリア入門、文章表現入門、ジョブインタビュー入門、キャリアデザイン A・B など）の概要、受講生からのアンケート結果、さらには講義計画（シラバス）の改善状況、そして今後の展開策なども説明します。

2025 年度 学外講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 17	持続可能な観光と宿泊施設の環境保全対策 経済学部 地域環境政策学科 教授 上江洲 薫（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	近年の観光地での観光客が急増し、一部の観光地で交通混雑やマナー違反など、地域住民に影響を及ぼすオーバーツーリズムを防ぐため、持続可能な観光が必要となっている。国際機関等で開発された「持続可能な観光指標」は、①経済、②社会・文化、③環境の3つのボトムラインに④マネジメントを加えた4つの視点から「持続可能な観光」をとらえ、また、持続可能な観光の発展には、①関係する利害関係者（ステークホルダー）の参画、②強い政治的リーダーシップ、③観光の影響をモニタリング（定期的な監視・観察すること）する継続的な取り組みが必要です。国内外の持続可能な観光の取り組みと、宿泊施設の環境保全対策の事例を挙げて概説します。

No. 18	「地域」と「時代」を映す「感性」の記録としての文学 —フランスの童話『星の王子さま』をめぐって— 経済学部 地域環境政策学科 教授 上江洲 律子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	作者が属する「地域」や「時代」に限定されることのない「人間の本質」を描き出した作品だけが「地域」や「時代」を超えて伝えられていきます。しかし同時に、作品は「作者」という個人のフィルターを通して「地域」や「時代」の在り方を映し出していることも事実です。今回の講座では、フランスの作家サン＝テグジュペリが手掛けた童話『星の王子さま』を取り上げ、そこに見出される「地域」や「時代」について紹介したいと思います。1つの作品から、普遍的な人間性だけではなく、作品が生み出された「地域」や「時代」の在り方を汲み取る眼差しをたどってみましょう。ある「時代」の「地域」を理解するための1つの力となると思います。

No. 19	地図からみる沖縄の自然と人々の暮らし 経済学部 地域環境政策学科 教授 小川 護（実施方法：対面）
	わが国唯一の亜熱帯地域である沖縄は、本州とは異なる自然環境と人々の暮らしが営まれています。このゼミでは、各種地図類や空中写真などの活用を中心に、本島や離島地域の自然環境と人々の暮らしについて、様々な視点からゼミメンバーの皆さんと一緒に学んでいきたいと思えます。また併せて、WEB上で簡単に扱えるデジタル地図やハザードマップ（防災地図）についても紹介します。ぜひ積極的に参加してください

2025 年度 学外講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 20	日本復帰以降の沖縄における耕種農業の変容とこれからの展望 経済学部 地域環境政策学科 教授 小川 護（実施方法：対面）
	1972 年の日本復帰以降、サトウキビの単作地帯として知られた沖縄農業は、航空機の貨物便や予冷設備を有するフェリー輸送などによって、本州の主要産地である野菜類や花き類の冬季端境期を狙った県外出荷を中心に、花き類や野菜類を主体とする本島や離島における産地形成が認められます。本講演会では沖縄の耕種農業を中心とする地域農業の変容と今後の展望について考えて生きたいと思っています。

No. 21	海はだれのものなのか 経済学部 地域環境政策学科 教授 呉 錫畢（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	2009 年度ノーベル経済学賞受賞者のオストロム教授は、共有資源の管理について、従来の「国家」か「市場」ではなく、当事者が自主的に保全管理する第三の道（コモンズ）を導いています。沖縄のリゾートホテルは、サンゴ礁が豊富である地域に多く見られますが、その場所は海の幸をとり、生活してきたコモンズだったはず。しかし、いつの間にか開発が始まり埋め立てられ、入ることが禁じられたりされます。海はだれのものなのか。30 年前に白保に新石垣空港建設でイノー（礁地）が奪われる直前にオバアの闘いで守った経験に基づいて、サンゴ礁破壊の本質的な問題、適正な資源管理をコモンズ白保イノーから考えます。

No. 22	韓国（済州島）から沖縄の未来を探る ～沖縄経済の自立に向けて～ 経済学部 地域環境政策学科 教授 呉 錫畢（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	近年の韓流ブーム。このブームはいったいどこから来たのでしょうか。約 20 数年間、続いてきた軍事独裁政権からもたらした絶望から、いまは希望への兆しをみせている韓国。沖縄でよく発生する米兵による事故や事件は、韓国でも同じく引き起こされています。しかし、韓国は大きな変化が見え始めています。特に、IT（情報）革命は、韓国の経済、社会、政治を大きく激変させ、また一部の米軍基地返還へつながっています。何がそれを可能にしたのでしょうか。 ところで、沖縄の経済状況をみると、つねに基地への依存、財政への依存を余儀なくしました。このような状況のなかで、沖縄の経済自立は可能であるのでしょうか。韓国から、また同じ島としての済州島から沖縄の自立を探ってみます。

2025 年度 学外講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 23	干潟における環境・経済と地域発展 ～沖縄、日本、韓国を事例として～ 経済学部 地域環境政策学科 教授 呉 錫畢（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄は日本に復帰後大規模な公共事業により干潟が急速に埋め立てられ、かつての自然の姿が消えつつあるのが現状であります。また、有明海の諫早湾埋立事業により豊かな干潟が消失されている。何れにせよ、地域の経済問題を解決するための埋立であった。これによって、干潟のみが消失されたのではなく、地域間、人との信頼関係も失われています。 韓国でもセマングム干潟干拓事業も類似な問題を抱えており、本講座は、日本、沖縄、韓国の事例を取り上げながら、真の地域発展とは何か、干潟の経済から分かりやすく解説します。

No. 24	パリ協定と海洋圏沖縄のグリーンビジネス可能性 経済学部 地域環境政策学科 教授 呉 錫畢（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	2020 年以降の温室効果ガス排出削減等のための国際枠組みパリ協定が、新たな経済振興のチャンスとして再び注目されています。「環境」というニュアンスは自然環境、貴重な動植物の保護の優先のイメージが強い。しかし、米国ではトランプ政権からバイデン政権に変わり、パリ協定への復帰など環境政策の大転換が起き「環境ビジネス」が再注目されています。米国に歩調を合わせるかのように日本も 2050 年を目標に「温室効果ガス排出量ゼロ」を打ち出しました。電気自動車や再生可能エネルギーなどの分野に経済界も動きを加速しています。ここで海洋圏である沖縄はどう対応すべきか。世界貿易秩序を揺るがしかねないパリ協定の下で沖縄の新たな経済振興の可能性を探り、解説します。

No. 25	沖縄のサンゴ礁の価値から真の豊かさを探る 経済学部 地域環境政策学科 教授 呉 錫畢（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄の観光客数は年々急増し続け、沖縄経済に大きな役割を担いつつあります。ところで、海と関連する観光が沖縄にとって益々重要であります。特にサンゴ礁は、日本のみならず世界的にも貴重な生物環境であります。ところが、日本の復帰後、大規模な各種の公共事業や赤土流出、オニヒトデ、また自然変化による白化現象によって、沖縄のサンゴ礁の破壊が急速に進んでいます。本講座では、環境はいくらかというテーマで、沖縄のサンゴ礁の価値を貨幣評価で表現すると共に、沖縄経済の発展と真の豊かさの問題を互いに考えてみます。

2025 年度 学外講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 26	土の中の生き物と、生態系の話 経済学部 地域環境政策学科 准教授 齋藤 星耕（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	人間も生き物である以上、食物連鎖の一員ですが、その出発点となる植物は土壌から養分を吸収して成長します。また、生物の死骸や排泄物は土壌において養分に戻ります。このように土壌は生態系を支えています。この役割が発揮されるために、土壌では一体何が行われているのでしょうか？土壌に暮らす様々な生き物を紹介しながら、一緒に謎解きを進めていきます。

No. 27	DNA から調べる生物多様性：自然環境からお腹の中まで 経済学部 地域環境政策学科 准教授 齋藤 星耕（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	生物の設計図を収録する物質である DNA。この DNA を解読する技術が、この 10 年ちょっとで大幅に進歩して、安価に大量に解読できるようになりました。この技術が、生物多様性、つまり、どんな生き物がいるか、洗いざらい調べることに使われるようになりました。水や土を調べるだけで、天然記念物のような貴重な生物が生息しているかどうかわかります。また、皆さんのお腹の中で働く微生物たち（腸内細菌叢）を調べることもできます。今では腸内細菌叢と健康には密接なつながりがあることが知られるようになりました。こうした技術について解説します。

No. 28	親子で学ぼう！高校生のためのキャリア入門 経済学部 地域環境政策学科 教授 島袋 伊津子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	日本の人事管理・雇用慣習・労働環境をわかりやすく解説し、高校生の進路決定、就職活動についてアドバイスします。併せて本学のキャリア支援の現状、学生の進路先など具体例を交えて説明します。 ※本学学生が同行し、講座を補佐します。

2025 年度 学外講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 29	南西諸島の軍事要塞化に係る環境アセスメントの課題 経済学部 地域環境政策学科 准教授 砂川 かおり（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	環境アセスメントとは、環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事業などの 人間活動について、その影響を事前に調査、予測、評価して、環境に配慮する手続きです。 米軍基地に加えて、沖縄県では 2014 年以降、自衛隊施設の新設が続いていますが、事業の実施時期や事業規模、事業主体等の意図的な操作によって、環境 アセスメント制度の網の目をくぐり抜けて、建設事業が進められています。 安全保障政策としての自衛隊施設建設という公益と、それによる環境への影響を回避・緩和し、自然環境や地域住民の生活環境を保全するという公益をどのようにバランスしていけばいいのか、一緒に考えてみませんか。

No. 30	島嶼村落における意識行動と環境配慮行動の違い 経済学部 地域環境政策学科 准教授 渡久地 朝央（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	生物保護や環境保護などに関する活動は肯定的に捉えられており、実際に活動に参加している人、時間の都合が付けば活動してみたい人もいよう。このような環境保全に関する活動は、個人やグループ、または教育活動の一環など様々な形で行われて、その活動の様子はニュースや新聞に取り上げられるなど社会的にも受け入れられている。しかしながら、社会で認められる活動である環境保全の活動に参加しない人々の割合は比較的に少ないのが実際である。このような人の考えと実際の行動の矛盾は、近年、行動経済学という分野で本講座では、行動経済学における知見を基に、環境保全に関する活動である環境配慮行動に対象を絞って説明を行う。

No. 31	万人（うまんちゅ）で考える「琉球・沖縄独立論」！ ～平和・自由・平等の視点から～ 経済学部 地域環境政策学科 教授 友知 政樹（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	昨今、注目度が上がる「琉球独立論」について、平和・自由・平等の視点から共に考えてみましょう。琉球・沖縄の過去と現在に目を向け、さらに未来について考えます。経済は大丈夫なのか？安心・安全は大丈夫なのか？その他、諸々大丈夫なのか？琉球・沖縄の世論の移り変わり、世界の様々な平和的独立運動の事例、そして、国連における様々な取り組みなども紹介しながら、楽しく、かつ、真剣に考えます！

2025 年度 学外講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 32	カタルーニャにおける市民運動の歴史と成果 ～カタルーニャ独立運動の視点から～ 経済学部 地域環境政策学科 教授 友知 政樹（実施方法：対面／オンライン どちらも可） 2019 年 4 月から 2020 年 3 月まで、学外研究（在外研究）の機会を利用して、カタルーニャ自治州（現在はスペインの一部）のバルセロナに滞在いたしました。滞在期間中はポンペウ・フアブラ大学（UPF）にお世話になりました。現地での体験学習を通して学んだ事、特に、カタルーニャにおける市民運動（「決定する権利」獲得運動、独立運動）の歴史と成果についての講座です。
--------	--

No. 33	沖縄から全ての「基地」がなくなったら沖縄経済はどうなるか？ 経済学部 地域環境政策学科 教授 友知 政樹（実施方法：対面／オンライン どちらも可） 沖縄から全基地（全ての米軍基地及び自衛隊基地）を撤去した際の沖縄経済に関する推計を 2012 年のデータをもとに行いました。沖縄県により公表された検討調査（2015 年）において使用された推計方法に準拠し計算したところ、全基地撤去後、3 兆 8426 億円の直接経済効果がもたらされると推計されます。この額は沖縄に基地があるためにもたらされる金額 2623 億円（基地関連補助金等含む）に対し 14.6 倍とも言えます。詳細は実際の講座において！
--------	--

No. 34	ゲームの理論で考える環境問題・エネルギー問題 経済学部 地域環境政策学科 教授 友知 政樹（実施方法：対面／オンライン どちらも可） 「塵も積もれば山となる」という言葉がある。ひとりひとりの何気ない行動が大問題を引き起こしかねない状況を懸念して使われる言葉である。環境問題やエネルギー問題などもその例外ではない。例えば、身近な環境問題としての「ゴミのポイ捨て問題」を解決するのは非常に困難である。エネルギー問題に関して言えば、「省エネ運動」を徹底させるのは決して容易なことではない。では、これらの難しさの原因は何なのか？そこに解決策は存在するのか？これらについて、“ゲーム”の理論を使って考える。ゲームの理論を通して世の中を覗くと、様々な「なぜ」に答えが見えてくる。
--------	--

2025 年度 学外講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 35	COVID-19 の数理モデル～SIIR モデル：感染拡大と無発症感染者の役割～ 経済学部 地域環境政策学科 教授 友知 政樹（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	本講座では、SIR や SEIR などの従来の感染症の数理モデルでは説明しきれない COVID-19 の感染拡大メカニズムの特性を明らかにするための新たな数理モデル SIIR について説明します。COVID-19 の特徴として、(1)未発症感染者(潜伏期感染者)が存在し潜伏期間にあっても感染力を持つこと、(2)無発症感染者が存在し野放しの状態で感染拡大に大きな役割を担うこと、(3)回復者が獲得する抗体の持続期間が有限であること、などを新たなモデルに取り込むことで、SIIR モデルが COVID-19 に対して適格的であることを示します。関連するデータについても紹介します。

No. 36	あんやたん！沖縄の貝 ～貝類利用の移り変わり～ 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	海に囲まれている琉球列島では先史時代よりさまざまな貝類を利用してきました。サンゴ礁、海草藻場、干潟、砂浜などから簡単に大量に採集できる貝類を、大事な食料、便利な道具、形を利用した魔除け、美しい装飾品として、時代とともにいろいろな用途に用いてきました。今回は、過去から現代まで沖縄の人々が時代の変化に合わせて貝類をどのように利用してきたか見ていきます。「この貝見たことある。あー、そうだった！」と 懐かしく思われる人もいるかも！？

No. 37	沖縄島の打ち上げ貝から何がわかる！？ 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄と言えばきれいな海！ですね。砂浜で、ビーチで、波打ち際に転がっている貝殻拾いをしたことがある人も多いのではないのでしょうか。なんとなく拾った貝、自然の砂浜と人工ビーチで打ちあがる貝類は違うの？違うわないの？東海岸と西海岸、打ちあがる貝殻に特徴はあるの？など知りたいですね。 ゼミの学生たちと一緒に、沖縄島、奄美大島など約 40 か所の打ち上げ貝を拾い集めて種同定した結果をお話したいと思います。打ちあがる貝類が語りかけてくる言葉に、耳を傾けてみませんか？

2025 年度 学外講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 38	沖縄県の海岸環境とその役割 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄の海といえば、「サンゴ礁」のイメージがあります。しかしその他にも、「砂浜」、「干潟」、「海草藻場」、「マングローブ環境」など様々な海岸環境があります。それぞれの環境には複数の機能があり、例えば砂浜には波浪減衰効果、海水浄化などがあります。砂浜からサンゴ礁縁（リーフエッジ）までの浅い海は礁池（イノー）と呼ばれ、さまざまな生物が生息しています。しかしこの浅い環境は埋め立て工事が容易なため、急速に陸地化し、各地で台風のたびに大きな被害が起きています。防災の上でも、生物の保全を考える上でも、砂浜からイノー、サンゴ礁までの連続した環境があることがとても大切です。

No. 39	琉球列島の浜辺から～海岸ゴミとマイクロプラスチック～ 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄の魅力のひとつは、青くて透き通った海、白い砂浜です。しかし、海辺に行くと気になるのが、浜辺に落ちている海岸ゴミ・漂着ゴミです。これらのゴミは、誰が捨てたの？どこから来たの？どの海岸にゴミは多いの？いつ頃多いの？と気になることはたくさんあります。今回は、海岸ゴミ・漂着ゴミについてと、近年話題となっている砂に混じって見つかるマイクロプラスチック（微小プラスチックゴミ）の現状についてもお話したいと思います。

No. 40	南の海の砂のおはなし 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄に住んでいる皆さん、沖縄の海岸をまわったことはありますか？サンゴ礁が広がる南の島で、青い海、白い砂浜？？内地の砂浜は黒くてきれいじゃない？実は、沖縄の砂浜は場所により非常に個性があり、色も形もさまざまな砂粒が堆積して作られています。しかし沖縄では、各地で自然海岸の砂浜に手が加えられ人工海岸へと急速に改変され、生物や環境、景観に様々な影響が出ています。身近すぎて見過ごしがちな砂浜海岸の機能について紹介します。そして、琉球列島の自然の砂浜の多様さを、奄美大島、石垣島、宮古島の砂浜も併せて紹介していきたいと思います。

2025 年度 学外講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 41	沖縄のサンゴ礁漁業 ～電灯潜り漁って何！？～ 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	サンゴ礁域で漁獲される水産物は魚類だけでも 200 種以上で、多種少産というのがサンゴ礁の水産資源の特徴です。サンゴ礁域は複雑な地形なので、定置網や建干網は適さず、追込網漁や電灯潜り漁が盛んです。実はサンゴ礁域の魚類には、メスとして産卵した後、成長してオスに性転換しオスとして繁殖する魚種も多いのです。食用魚類で有名なイラブチャー、アカジン、マクブーはすべてメスからオスに性転換します。今回は、サンゴ礁魚類の持続的な資源利用を考えるために、電灯潜り漁で獲れる魚種とその漁獲数やサイズ組成、電灯潜り漁による傷の有無や程度とセリ単価との関係などについてお話しします。

No. 42	沖縄の夏の浜辺の恐怖 ～ハブクラゲについて知ろう～ 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄と言えば白い砂浜、美しい海、さあ水着で泳ぎだそう！！あ、でもちょっと待って……。2021 年 7 月、豊見城市瀬長島の瀬長ビーチで 9 歳の女儿がハブクラゲに刺され、一時意識を失う被害がおきました。沖縄の美しい海を楽しむには、危険生物に関する最低限の知識が必要です。ハブクラゲってどんな生き物？毒の強さは？予防法や応急処置は？そもそも沖縄県民はいつどこで何をしてハブクラゲに刺されているの？2009～2021 年（計 13 年）に実施した、延べ 793 名の沖縄国際大学生へのアンケート調査結果をもとに、沖縄島における沖縄県民のハブクラゲ被害の実態についてひもといていきます。

No. 43	奄美大島の浜辺から～海岸ゴミとマイクロプラスチック～ 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	奄美の魅力のひとつは、青くて透き通った海、美しい砂浜です。しかし、海辺に行くと気になるのが、浜辺に落ちている海岸ゴミ・漂着ゴミ。これらのゴミは、誰が捨てたの？どこから来たの？どの海岸にゴミは多いの？いつ頃多いの？と気になることはたくさんあります。今回は、海岸ゴミ・漂着ゴミについてと、近年話題となっている砂に混じって見つかるマイクロプラスチック（微小プラスチックゴミ）の現状についてお話ししたいと思います。

2025 年度 学外講座一覧

【産業情報学部 提供講座】

No. 44	観光客から移住者へ、沖縄をマーケティングする 産業情報学部 企業システム学科 准教授 小原 満春 (実施方法:対面／オンライン どちらも可)
	「観光から移住へ」という言葉はよく聞くフレーズですが、実際に観光客がどのようなプロセスを経て移住者になっていくか、そのプロセスに関する研究は多くはなされてきませんでした。また、沖縄が大好きで移住したものの、数年後沖縄を去ってしまう移住者も存在します。そこで本講座では、沖縄県へ訪れる観光客が移住者になり、沖縄で生活していたものの、数年経つと移住を中断（沖縄からの離脱）するというプロセスについて主に人間行動の側面から明らかにしていきます。観光客が移住者になりはては離脱者になる。そこには、どのような心が隠されているのか、受講生とともに明らかにしていこうと思います。

No. 45	マーケティングと行動経済学入門 産業情報学部 企業システム学科 准教授 小原 満春 (実施方法:対面／オンライン どちらも可)
	売れる仕組みづくりである「マーケティング」については、様々な理論が構築されてきました。そこに人々の不合理的な行動を学問的に明らかにしようとする「行動経済学」の理論を組み合わせることで、より効果的な「マーケティング」について受講者とともに考えていくことを本講座の目的とします。人々はどのようにして商品を選択しているのか、心の動きはどうなっているのか身近な事例を基に「マーケティング」と「行動経済学」理論に触れながら、それぞれの基礎的な理論をベースに考えていきます。

No. 46	総合型地域スポーツクラブを考える 産業情報学部 企業システム学科 准教授 慶田花 英太 (実施方法:対面／オンライン どちらも可)
	平成 12 年に策定されたスポーツ振興基本計画の中で生涯スポーツの柱として全国で育成された総合型地域スポーツクラブも 3,500 クラブを超えたが、いまだに多くの人がある存在を知らないのが現状です。本講座では、総合型地域スポーツクラブ構想の背景からその概要、さらにはその役割や意義について説明し、昨今の学校運動部活動の問題や地域スポーツとの関係も含めて説明します。

2025 年度 学外講座一覧

【産業情報学部 提供講座】

No. 47	生成 AI を活かす！仕事・学習の効率を上げる実践的活用法 産業情報学部 産業情報学科 准教授 小渡 悟（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	ChatGPT や Gemini, DALL-E などの生成 AI が急速に進化し、私たちの働き方や学び方に大きな変化をもたらしています。しかし、「どのように活用すればよいのか?」「AI に仕事が奪われるのでは?」といった疑問や不安を持つ方も多いのではないのでしょうか? 本講座では、生成 AI の基本的な仕組みを解説した上で、「仕事・学習の効率を上げる実践的な活用法」についても解説します。また、講師が実際に生成 AI を操作し、ビジネス文書作成や学習支援などのデモンストレーションを行いながら、AI の可能性と限界について分かりやすく説明します。

No. 48	ゲームを活用した地域振興 - e スポーツ・位置情報ゲーム - 産業情報学部 産業情報学科 准教授 小渡 悟（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	茨城国体の文化プログラムとして「全国都道府県対抗 e スポーツ選手権」が加わったことにより、日本でも e スポーツに注目が集まっています。また、2016 年に発表された位置情報ゲームアプリ「ポケモン GO」は世界中で大ヒットし、社会現象にまでなりました。コンピュータゲームは単なる娯楽とは言えなくなっています。 本講座では、「ゲーム×観光」の観点から見ていき、観光振興にどのように活用されてきたのか解説します。また、今後の沖縄でのゲーム活用の可能性についてもお話しします。

No. 49	バーチャルリアリティで観光体験－観光産業での VR を用いた事例紹介－ 産業情報学部 産業情報学科 准教授 小渡 悟（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	2016 年に家庭用ゲーム機の VR 機器（Playstation VR）が発売になり、話題になりました。沖縄県内でも VR 体験の行えるアミューズメント施設などが増えてきています。しかし、「VR とは?」と問われても正確に答えるのは難しいのではないのでしょうか。また、「VR=エンターテインメント（娯楽）」と思われている人もいるのではないのでしょうか。 本講座では VR の基礎技術、歴史などもふまえ分かりやすく解説します。さらに、観光産業での VR の活用事例を紹介します。

2025 年度 学外講座一覧

【産業情報学部 提供講座】

No. 50	AR（拡張現実感）・MR（複合現実感）による観光サポート 産業情報学部 産業情報学科 准教授 小渡 悟（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	スマートフォンなどのカメラからの映像にコンピュータで作成した映像（CG）を重ね合わせて表示する技術として AR（拡張現実感）・MR（複合現実感）があります。2016 年に公開されたスマートフォンアプリ「Pokemon GO（ポケモン GO）」では AR 技術が用いられており、世界中で話題になりました。また、携帯ゲーム機にも AR 技術を用いたソフトが多く発売されている。 本講座では AR/MR の基礎技術を解説するとともに、エンターテインメント（娯楽）以外での活用事例を紹介する。特に観光産業での観光サポート、道案内、新しい体験の提供などでの AR/MR の活用事例を紹介する。

No. 51	スクラッチで楽しく作るゲームプログラミング入門 産業情報学部 産業情報学科 准教授 小渡 悟（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	一般の人も教養として楽しめるプログラムの作成方法について学びます。具体的にはプログラム言語「Scratch（スクラッチ）」を用い、ゲーム制作を通してプログラムの基本処理（順次・反復・分岐）について修得することを目指します。 注意：PC かタブレット が利用できる環境が必要です。PC の場合、ブラウザとして Chrome（バージョン 63 以上）、Edge（バージョン 15 以上）、Firefox（バージョン 57 以上）、Safari（バージョン 11 以上）のいずれかがインストールされている必要があります。Internet Explorer はサポートされていません。タブレットの場合は、Mobile Chrome（バージョン 63 以上）、Mobile Safari（バージョン 11 以上）のいずれかとなります。また、インターネットが利用できる環境が必要です。 ※ただしオンラインでの実施の場合、すべての参加者の PC で Zoom/Google Meets/MS Teams などを利用できるようにし、講師からの指示で画面共有等ができるようにしてください。

2025 年度 学外講座一覧

【産業情報学部 提供講座】

No. 52	STEM 教育入門講座－VUCA 時代にどのように対応するのか－ 産業情報学部 産業情報学科 准教授 小渡 悟（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	人工知能（AI）を含む IT 技術の発展，環境問題，社会問題などの社会的変化が急速に進んでいる現代は VUCA（変化し（Volatility）不確実で（Uncertain）複雑（Complexity），さらに曖昧性がある（Ambiguity））時代ともいわれています．このような実社会においては問題を解決するためには批判的思考力，問題解決能力が必要となります．そのため，STEM 教育をはじめとする分野横断的、探究的な学びの重要性が求められています． STEM 教育は Science（科学），Technology（技術），Engineering（工学），Mathematics（数学）の学習を通じて，将来にわたって価値あるスキルと知識を身につけるための手段です．この教育は急速に進化する世界に適応し，未来の職業世界で求められる批判的思考力や問題解決能力を養います． 本講座では STEM 教育の基礎的な事項を学ぶとともに，国内外の STEM 教育の実践例について解説します．

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 53	琉球芸能に学ぶ（実演・解説・体験） 総合文化学部 日本文化学科 教授 田場 裕規（実施方法：対面／オンライン どちらも可） 琉球芸能文学研究会は、各人がそれぞれの流派・会派で学ぶ琉球芸能（舞踊・歌三線・箏曲・笛・太鼓・胡弓）や沖縄各地に伝わる民俗芸能（八重山舞踊・竹富島の芸能）を習得し、芸能に内在する文化的な価値を見いだす研究を行っています。顧問田場裕規・副顧問宮城茂雄（伝統組踊伝承者、琉球舞踊宮城流教師）の指導のもと、実践的に芸能を学ぶとともに、明朗活発な文化の発信を目指しております。本講座は、琉球芸能文学研究会の学生が日々稽古を重ねて習得した芸能を実演し、それに解説を加え、受講者と芸能を体験する講座になっております。修学旅行の沖縄体験学習や、地域の文化講座等で活用していただけるものと思います。 ※活動実績「双葉踊り」（宮城県・東京都・愛媛県・北海道・兵庫県・和歌山県・宮古島市） ※本学学生が同行し、講座を補佐します。
No. 54	万葉を心の糧に ～歌に親しむ・古典に学ぶ～ 総合文化学部 日本文化学科 教授 田場 裕規（実施方法：対面／オンライン どちらも可） 約 1300 年の時を経て、現代に伝わる万葉集には、さまざまな人の歌が収められています。歌を書記することが、いかに画期的なことであったかを実感したとき、万葉集のもつ魅力に気づかれます。例えば、現代人の多くが恋に悩み、苦しみ、切ない思いをかかえて暮らすことがあると思いますが、万葉において「恋」は「孤悲」と表記されることがあります。現代にも通じる心が漢字表記の面からうかがい知ることができるのです。そこには五七五七七の律動だけではなくさまざまな工夫があり、その一つ一つをつむぐことによって、1300 年前の人々の息づかいがよみがえります。歌に親しみ・古典に学び、万葉の人びとの心にふれることによって、現代を生きる我々の心の糧としたいと思います。
No. 55	しまくとうばの文芸作品にふれてみよう 総合文化学部 日本文化学科 教授 西岡 敏（実施方法：対面／オンライン どちらも可） 琉球・沖縄では、古琉球、近世琉球、近代沖縄といった各々の時代において琉球語・琉球文（しまくとうば）を中心とした独自の文芸が花開きました。「オモロ」「琉歌」「組踊」「琉球民謡」「沖縄芝居」などが挙げられるでしょう。 琉球・沖縄の地に根差した文芸を読み解き、琉球・沖縄における文化的な特徴について考察します。

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 56	うちなーぐち入門 総合文化学部 日本文化学科 教授 西岡 敏（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	はいさい。ぐすーよー、ちゅーをうがなびら。 （はい。みなさま、こんにちは。） うちなーぬ くとうばー、「うちなーぐち」んでい 言ちょーいびーん。 （沖縄の言葉は「うちなーぐち」と言っています。） 「うちなーぐち」にちーてい、まじゅん、学でいいちゃびらな。 （ウチナーグチについて、一緒に、学んでいきましょう。） ゆたさるぐとう うにげーさびら。

No. 57	沖縄文学入門 総合文化学部 日本文化学科 教授 村上 陽子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「沖縄文学」とは、明治以降に日本語で書かれた沖縄の文学の総称です。短歌や俳句、詩、小説など、多くのジャンルの文学作品が生み出されてきました。それらは「日本文学」とどのように重なり、どのように異なるのでしょうか？ 沖縄の歴史や文化、言葉が文学の創造にどう関わってきたのか、学んでみませんか。

No. 58	現代沖縄の文学 総合文化学部 日本文化学科 教授 村上 陽子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	現代沖縄の文学は、国家や言葉の枠組み自体を問い直す創造的な試みに溢れ、県内外、国内外の注目を集めています。沖縄戦や米軍占領、独自の文化などを沖縄の文学はどのように表現してきたのか？ 実際に小説を深く読むことを通して、沖縄への理解、文学への理解を深めていきましょう。

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 59	波乱万丈！愛と野望が交錯する四大奇書と『紅樓夢』——中国古典小説の世界へ！ 総合文化学部 日本文化学科 講師 劉 森（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	戦乱の世を駆ける英雄たちの壮絶な戦い——『三国志演義』。 義と裏切り、108 人のアウトローが繰り広げるドラマ——『水滸伝』。 妖怪退治と奇想天外な旅路——『西遊記』。 欲望と権力が渦巻くスキャンダラスな物語——『金瓶梅』。 そして、もう一つ、中国文学史上最高峰と称される『紅樓夢』。貴族社会の栄枯盛衰、繊細で美しい恋愛模様、個性豊かな登場人物たちが織りなす壮大な物語は、まさに文学の宝石です。 本講座では、これらの作品をわかりやすく紹介しながら、それぞれの時代背景や社会との関わり、登場人物の魅力を深掘りします。初めての方も大歓迎！壮大な物語の世界へ、一緒に旅してみませんか？

No. 60	ジャズの歴史 総合文化学部 英米言語文化学科 講師 萩埜 亮（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	ジャズの誕生から現代に至るまでの発展を概観し、その音楽的特徴や文化的背景を探ります。19 世紀末のニューオーリンズで生まれたジャズは、スウィング、ビバップ、フリースタイルなど多様なスタイルを生み出しながら進化してきました。また、社会運動や大衆文化との関わりを通じて、アメリカのみならず世界中の音楽に影響を与えています。講義では、公民権運動や Black Lives Matter (BLM) への影響など、ジャズが社会変革の象徴として果たしてきた役割を考察します。音楽がいかにして抵抗の手段となり、アイデンティティの表現として機能してきたのかを探りながら、ジャズの歴史を多角的に学ぶ機会を提供します。

No. 61	ハリウッド恋愛映画の歴史と魅力 総合文化学部 英米言語文化学科 講師 萩埜 亮（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	ハリウッドの恋愛映画の変遷をたどり、その魅力と社会的背景を考察します。1930 年代のスクリーンボール・コメディに見られる男女の機知に富んだ掛け合い、1940～50 年代のメロドラマ、1960 年代以降のロマンティック・コメディや現代の多様な恋愛映画までを幅広く扱います。映画は時代ごとの恋愛観やジェンダー意識を反映し、また変革を促してきました。エルンスト・ルビッチ、ビリー・ワイルダー、ノーラ・エフロンらの作品を取り上げ、ロマンスの描かれ方がどのように変化してきたのかを分析します。古典から現代までの名作を通して、ハリウッド恋愛映画の奥深さとその時代背景を探ります。

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 62	ペーパーバックを原書で読もう 総合文化学部 英米言語文化学科 講師 萩埜 亮（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	英語のペーパーバックを原書で読む楽しさとコツを学びます。初心者にも読みやすい作品の選び方、レベルに合ったジャンルの紹介、辞書の選び方や使い分けを指導します。分からない単語や表現に出会ったときの調べ方、便利なインターネットのサイトの活用方法、そして物語をより深く理解するために、英語圏の文化や歴史、社会的背景を調べる方法についても学びます。英語ならではのニュアンスや表現の面白さを味わうことで、物語をより豊かに楽しめるようになります。英語学習者はもちろん、洋書に挑戦したい方にも最適な講座です。

No. 63	文化人類学入門 総合文化学部 社会文化学科 教授 石垣 直（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「文化人類学」は、「文化」をキーワードに人類の多様性と普遍性を議論する学問です。私たち人類はいつ誕生した？ 「人種」が違えば「文化」も違う？ ヨーロッパ文明こそが世界史をリードしてきた？ 「夫婦別姓」はけしからん？ 日本人と中国人は「同種同文」？ 諸文化で「右」(東)が優越するのはなぜ？ キリスト教とイスラム教の対立は別個の神の間の戦い？ こうした問いに私たちはどれだけ答えられるのでしょうか？ グローバル化が進む 21 世紀に求められるのは、自文化の特徴を歴史的に理解し、敬意をもって異文化・他者と接する視点・態度です。文化人類学の初歩を学ぶことで、人類の歴史と現在について一緒に考えてみませんか。

No. 64	台湾の歴史と文化 総合文化学部 社会文化学科 教授 石垣 直（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	台湾は、私たちが住む沖縄に最も近い外国です。また、毎年沖縄を訪れる外国人観光客の中でもっとも多いのが台湾からやってくる人々です。しかし、現代の沖縄に住む私たちは、どれだけ台湾のことを知っているのでしょうか？ 台湾はかつて「琉球」と呼ばれていた？ 台湾はもともと「漢族」の島・土地ではなかった？ 「台湾人」＝「中国人」？ 「台湾人」はみんな同じ言葉をしゃべっている？ 台湾の人々の宗教は「仏教」それとも「道教」？「儒教」？ 水牛もパイナップルも台湾から沖縄にもたらされた？ 台湾の人々はみんな「親日」？ 隣人・台湾を知ることが、きっと沖縄の歴史と現在を再考する上でとても重要な刺激になるはずです。

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 65	「先住民族運動」とは何か 総合文化学部 社会文化学科 教授 石垣 直（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「先住民（族）」（native、indigenous peoples 等）という言葉を目にする時、我々がイメージするのは、サバンナや熱帯雨林の狩猟採集民、自然と調和する「未開」の人々かもしれません。しかし、実は沖縄を含め、日本にも「先住民族」を自称し、「民族」としての諸権利を要求する人々がいます。そしてかれらの権利主張に耳を傾けていくと、「民族」の「伝統文化」・「言語」・「土地」を守ろうとするかれらの要求が、必ずしも復古的なものではないことに気付かされます。本講座では、その歴史とナショナル／グローバルな展開に注目しながら、「先住民族」概念が炙り出す現代社会の諸問題に接近することを目指します。

No. 66	感染症からみる日本の歴史 総合文化学部 社会文化学科 教授 市川 智生（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	日本史や世界史と聞くと、有名な事件や人物について勉強することだと思いませんか？近年の歴史学では、健康や病気のように、みなさんにも身近な問題について研究成果が続々と発表されています。 この講座では、かつて日本で大流行した天然痘、コレラ、ペスト、インフルエンザなどの急性感染症をとりあげ、社会にどのような影響を与えてきたのかを考えます。そして、みなさんが暮らす沖縄については、マラリアやフィラリアなどの「風土病」に注目し、その克服の歴史を紹介します。 新型コロナウイルス感染症によって社会生活が大きく変わりつつある現在、感染症の歴史について考えるきっかけをつかんでもらえればと思います。

No. 67	子どもの「学力」を考える 総合文化学部 社会文化学科 教授 藤波 潔（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	大学の入試改革、新学習指導要領の実施など、この数年は子どもに修得させるべき「学力」とその評価のあり方について大きな変革がなされてきた。変化が激しく、不透明な状況が続くことが想定されるこれからの社会を前提としたときに、子どもたちに身につけさせるべき「学力」とは何かについて、皆さんとともに考えたい。

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 68	「探究的な歴史学習」とは何か 総合文化学部 社会文化学科 教授 藤波 潔（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	中学校、高等学校において新しい学習指導要領が完全実施となったことに伴い学校での学習は「探究活動」が主軸となり、これまでの学習観の大きな転換が必要となりました。これまで「知識注入重視」型の授業が中心だった社会科、とくに歴史学習も例外ではありません。この講座では、「探究的な歴史学習」のあり方について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

No. 69	「記録」の重要性を考える 総合文化学部 社会文化学科 教授 藤波 潔（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	この数年間、「公文書」をめぐる問題が発生し、社会的な議論が生じました。確かに「公文書」は「公文書管理法」に基づいて管理されるべき重要な「記録」ですが、「公文書」だけが問題なのでしょうか。この講座では、行政機関が作成する「公文書」のみならず、企業、各種団体そして個人が作成する「私文書」も対象として、記録を作成し、残すことの意味と重要性を考えたいと思います。

No. 70	「キャリア教育」とは何か 総合文化学部 社会文化学科 教授 藤波 潔（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「キャリア教育」とは、子どもたちの進路先や就職先を考えるためだけにおこなわれるものなのでしょうか？学校での学習は、定期試験や入試で高得点をとるためだけにおこなわれるものなのでしょうか？「キャリア教育」と就職活動や職業教育とは、何が、どのように異なるのでしょうか？子どもたちの人生を考えるための「キャリア教育」のあり方を、皆さんと考えたいと思います。

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 71	探究学習をデザインする 総合文化学部 社会文化学科 教授 藤波 潔 （実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	中学校や高等学校では学習指導要領の改訂に伴い、キャリア教育や地域学習、教科横断的なテーマによる「総合の時間」や「総合的な探究の時間」の開始、各教科における「探究学習」など、「探究」に基づく学習活動が始まっています。しかし、これまでの学習活動との違いなどで、その実施方法に課題を感じられている学校もあるようです。そこで、本講座では、「探究学習」プログラムのデザイン方法について、簡単なワークを取り入れながら考えたいと思います。

No. 72	掘ればわかる沖縄の歴史 総合文化学部 社会文化学科 教授 宮城 弘樹 （実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	今から約 80 年前の沖縄戦の遺物、あるいは約 600 年前に築かれたグスクと呼ばれる城跡、約 2,000 年以上前の人々が残した貝塚、さらにもっと遡って島にやってきた約 2 万年前の港川人。沖縄の地下にはたくさんの遺跡があります。最新の発掘成果から明らかになった、考古学が明らかにしてきた沖縄の歴史について紹介します。

No. 73	考古学が明らかにするグスクの実像 総合文化学部 社会文化学科 教授 宮城 弘樹 （実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄にはグスクと呼ばれる遺跡があります。世界遺産に登録される今帰仁、勝連、中城、座喜味、首里はみなさんも良くご存じだと思います。 これらの遺跡が城として現役だった時代は、14 世紀から 15 世紀で、この時代沖縄本島を三分する勢力が争っていました。島々にグスクが築かれ、島の勢力が統一されていく過程を発掘調査や最新の研究をとおして紹介します。

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 74	「障害」とは何か？～障害学の視点から考える～ 総合文化学部 人間福祉学科 教授 岩田 直子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	障害学とは、障害を切り口として社会のことや文化を研究していく学問、思想、知の運動と言えます。「障害」そのものや「障害者の経験」を、医療やリハビリテーション、特別支援教育などのような専門分化された枠組みからいったん解放し、社会や文化の視点からとらえ直しています。既存の障害観を変えるお話しができたらと思います。

No. 75	北欧の障害者福祉政策 ～個人の暮らしを支える仕組み～ 総合文化学部 人間福祉学科 教授 岩田 直子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	北欧諸国（主にスウェーデンとデンマーク）の障害者福祉について、楽しくお話ししたいと思います。具体的には、障害者福祉の歴史、政策の動向、権利擁護、パーソナルアシスタントやコンタクトパーソンの役割と効果などについてお伝えします。障害の有無に関わらず、ひとりひとりの権利が守られる福祉国家のしくみについて一緒に考えていきましょう。

No. 76	ヒットソングと映画でたどる非行と福祉の昔と今 総合文化学部 人間福祉学科 准教授 荻野 太司（実施方法：対面）
	ヒットソングや映画などの文化は、我々の社会の世相を映す鏡であると言えます。私の青春時代のアイドルは、尾崎豊でした。尾崎豊は、当時の満たされない若者の心を歌い人気を博しました。30 年前の当時と、今では「15の夜」はどのように変化したのでしょうか？ヒットソングや映画の変遷をたどりながら、非行や福祉の変遷をたどることにしましょう。

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 77	避難所運営ゲームで学ぶ災害福祉と共生 総合文化学部 人間福祉学科 准教授 荻野 太司（実施方法：対面）
	災害大国と呼ばれる日本において、沖縄県も決してその例外ではありません。家を災害で失ったときなどには、我々は避難所を利用せざるを得ません。一時的にせよ他者と一つの空間で過ごさなければならない避難所にはどのような「工夫」が必要なののでしょうか？避難所運営ゲーム HUG への体験を通して、災害時の福祉と共生について、参加者の皆さんで考えてみることにしましょう。 ※本学学生が同行し、講座を補佐します。

No. 78	司法統計から学ぶ沖縄県の犯罪と刑罰 総合文化学部 人間福祉学科 准教授 荻野 太司（実施方法：対面）
	高齢化社会では、刑務所に高齢者が増えるように、犯罪や刑罰は、この社会を映す鏡といわれています。沖縄県の社会はこれまで多くの独自の特徴と問題が指摘されてきました。 では沖縄県の犯罪、刑罰には他県と異なり、どのような傾向があるのでしょうか？ 沖縄の今日の社会と人々を理解するために裁判の統計をもとに、みなさんと考えていきたいと思います。

No. 79	沖縄国際大学におけるソーシャルワーカー養成と研究 総合文化学部 人間福祉学科 准教授 荻野 太司（実施方法：対面）
	ソーシャルワーカーとはどのような仕事なのでしょうか？どのような養成が行われ、学生たちはどのような体験をしているのでしょうか？ 沖縄国際大学におけるその教育・研究と専門職養成の実際を基に、学生の発表や対話によって、これらの点について考え、今日の沖縄における社会的課題についてみなさんと再考したいと思います。 ※本学学生が同行し、講座を補佐します。

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 80	更生保護ゆんたく（犯罪学カフェ） 総合文化学部 人間福祉学科 准教授 荻野 太司（実施方法：対面）
	沖縄の犯罪、非行と、そしてそれを行った人々への支援について、社会福祉を学ぶ学生との対話を通して、哲学カフェ形式でともに考えてみませんか？ このカフェの目的は、議論をして相手を打ち負かすこと、新しい知識を得ることではありません。対話を通して、参加者の考えを理解し、自らの考えを客観化することにあります。 テーマは、「死刑がなくなったらどうなるの？」「なぜ犯罪はなくなるの？」「住みやすい町ってどんな町？」等々こちらで設定することも可能ですし、ご希望のテーマで実施することも可能です。 ※本学学生が同行し、講座を補佐します。

No. 81	“うつ”にもいろいろありまして… 学校・職場のメンタルヘルスと自殺予防 【メンタルヘルスの基本編】 総合文化学部 人間福祉学科 教授 片本 恵利（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	働き方改革、SDGs、コロナ…職場環境の改善は必須だと、誰もがわかっています。また近年は“うつ”の表れ方も多様でそれぞれの場合に応じて適切な対応が求められます。でも…多様な“うつ”の予防や「死にたい」と言われたときにすべきこととすべきでないこと…とっさにはわからないですよね。そもそも、自分自身が苦しい状況になってしまった時どうしたらいいのでしょうか…？ この講座では、【メンタルヘルスの基本編】としてご自身や身近な方のセルフチェックやセルフケアに役立つ情報を中心にメンタルヘルスケアのコツをお伝えします。

No. 82	“うつ”にもいろいろありまして… 学校・職場のメンタルヘルスと自殺予防【実践編】 総合文化学部 人間福祉学科 教授 片本 恵利（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	働き方改革、SDGs、コロナ…職場環境の改善は必須だと誰もが分かっています。また近年は“うつ”の表れ方も多様でそれぞれの場合に応じて適切な対応が求められます。でも…多様な“うつ”の予防や自傷行為への対応、「死にたい」と言われたときにすべきこととすべきでないこと…そんな場面でどうしたらいいのでしょうか…？ この講座ではメンタルヘルスの【実践編】として、職場・学校で使えるメンタルヘルスケアのコツを心理臨床の立場から解説し、実際に起こりうる問題への対処についても具体的にお伝えします。No.74 の基本編を受講した方、学校や職場等でのメンタルヘルスケアに関心のある方にお勧めの内容です。

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 83	「この子、何考えてるのかしら？」～今日の沖縄を生きる少年少女のころ～【基本編】 総合文化学部 人間福祉学科 教授 片本 恵利（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「一生懸命接しているのにうまくいかない」「何を聞いても“別に”“フツー”“ビミョー”しか返ってこない」「この子、大丈夫だろうか？」…ふと、こんな思いにとらわれることはありませんか？ この講座では、臨床心理学の理論およびスクールカウンセラーの実践に基づき新しい時代を生きる子ども・若者たちから大人たちへのメッセージを“通訳”してお伝えし、子育て・教育の基本やゴールまでの道筋を踏まえたご家庭や学校での普段の接し方のポイントをお伝えします。

No. 84	「この子、何考えてるのかしら？」～今日の沖縄を生きる少年少女のころ～【実践編】 総合文化学部 人間福祉学科 教授 片本 恵利（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「一生懸命接しているのにうまくいかない」「何を聞いても“別に”“フツー”“ビミョー”しか返ってこない」「この子、大丈夫だろうか？」…ふと、こんな思いにとらわれることはありませんか？ この講座では、臨床心理学の理論およびスクールカウンセラーの実践に基づく事例（プライバシーに配慮した架空の典型例等）を多く紹介しながら、新しい時代を生きていく子ども・若者たちへの対応のコツについてお伝えします。講座 No.76【基本編】を受講された方、職場や学校での子ども・若者への対応の実際について関心のある方にお勧めの内容です。

No. 85	恋愛と結婚の心理学～私もパートナーも笑顔になれるヒント～【基本編】 総合文化学部 人間福祉学科 教授 片本 恵利（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「女性／男性のココがナゾ」「恋愛運ってあるの？」「出会いがない…」「結婚生活をうまく続けるコツは？」「ぶっちゃけ、パートナーとうまくいっていない…」など、恋愛や結婚に関する身近な Q&A を通して多様な性のあり方を含めた自分とパートナー理解やトラブル解決、自分も相手も大切に作る生き方などについてのヒントを具体的にお伝えします。 小学生から成人まで幅広い年代の方に対応可能な、例年好評の講座です。

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 86	恋愛と結婚の心理学～私もパートナーも笑顔になれるヒント～【実践編】 総合文化学部 人間福祉学科 教授 片本 恵利（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「女性／男性のココがナゾ」「恋愛運ってあるの?」「出会いがない…」「結婚生活をうまく続けるコツは?」「ぶっちゃけ、パートナーとうまくいっていない…」…家事分担から妻の愚痴への対処、ケンカの修復まで…身近な疑問について心理学の理論およびスクールカウンセラーの実践に基づく事例（プライバシーに配慮した架空の典型例等）を多く紹介しながら、多様な性のあり方を含めた自分とパートナー理解やトラブル解決のヒント、自分も相手も大切にする生き方について具体的にお伝えします。講座 No.78【基本編】を受講された方、多様な性のあり方やパートナーとのコミュニケーションについて理解を深めたい方にお勧めの内容です。

No. 87	こどものころが見えてくる講座 総合文化学部 人間福祉学科 教授 片本 恵利（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	こどもと楽しく過ごしたい、能力を伸ばしたい、将来困らないようにできることをしてやりたい…誰もが願うことですよね。でも、分かっているつもりで怒ってしまったり、ネットや書籍の情報を見てもかえって混乱してしまったり… この講座では、身近な Q&A を通して幼児～児童期のこどもの特徴をおさえつつ、こどもが大人に望むこと、こどもの発達段階に応じたコミュニケーションの取り方のコツなどをシンプルにお伝えします。理想やお題目ではなく、手を抜くところと手をかけるところのメリハリをつけて肩の力を抜くお手伝いをさせていただきます。

No. 88	職場・学校のためのメンタルヘルス講座 総合文化学部 人間福祉学科 教授 知名 孝（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	最近、精神疾患や精神障害、様々なメンタルな問題について取り上げられることが多いのですが、実際どういうものなのでしょう？そしてそれら精神に関する問題について世の中ではどういう治療や支援を行っているのでしょうか？幼少時期の母子関係や親子関係から、成人期になってメンタルの問題を抱えてしまうって本当ですか？職場や学校、家庭ではどういった対応をすればいいのでしょうか？みなさんの様々な疑問に答えていくための講座です。

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 89	発達障害児者支援のこれまでとこれからを考える 総合文化学部 人間福祉学科 教授 知名 孝（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	学校や地域で発達障害児者の支援の仕組みが制度化されて 10 数年になります。発達障害者支援法に始まり、特別支援教育の成立、そして就労支援など障害福祉制度サービスの対象化など、まだ不十分ではありますが、かつてに比較すると多くの仕組みがつくられてきました。しかし、実際に発達障害児者の支援はどんな状況で、どういうところに不十分さがあるのでしょうか？そういうことを考えていくための講座です。

No. 90	「サザエさん」から考える家族の「奇々」と「危機」 総合文化学部 人間福祉学科 教授 桃原 一彦（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	マンガやアニメでお馴染みの「サザエさん」。その作品で描かれている「永遠不変」な登場人物たちとそのキャラクターや振る舞い、そしてかれらが日々つくり上げていく家族は、社会学やジェンダーの視点から見えていくと、実に「平和」で不可思議な世界が表現されています。それでも、私たちは毎週日曜の夕食時間に「家族みんなで」何気なくその作品を目にし、何となく「家族」イメージを作り上げていきます。そのイメージからどのような現実や問題が見えにくくなってしまおうのか、とくに家族の「危機」を中心に社会学の視点で一緒に考えていきましょう。

No. 91	「ヘイトスピーチ」から考える「不安」な時代の处世術 総合文化学部 人間福祉学科 教授 桃原 一彦（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	インターネット上を中心に横行する「ヘイトスピーチ」。それは、相手を傷つけることを主な目的とした言葉による暴力。そこには目を背けたくなる、耳を塞ぎたくなる、つまりできるだけ自分自身から遠ざけたくなるような罵詈雑言が飛び交います。しかし、それは決して遠い世界の「ひとごと」「よそごと」ではなく、実はいつの間にか気がつく「自分ごと」として巻き込まれていく可能性が潜んでいます。「ヘイトスピーチ」がどのようなメカニズムで発生するのか、その「不安」な時代を乗りこなす处世術を社会学の視点で一緒に考えていきましょう。

2025 年度 学外講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 92	心理学研究法入門 総合文化学部 人間福祉学科 准教授 前堂 志乃 (実施方法: 対面)
	みなさんの抱く「心理学のイメージ」はどのようなものでしょうか。カウンセリング、心理テスト、科学的、データ、統計…。文系のような理系のような、心が読めるような読めないような…。 心理学は心を科学する学問といわれます。科学するために心理学研究法があります。この講座では、心理学研究法のいくつかを紹介し、ちょっとだけ体験してもらいたいと思います。研究法の体験を通して、心を科学的に知ることの面白さ、科学的な視点から自分を見つめる面白さを、お話しできたらと思います。 ※本学学生が同行し、講座を補佐します。

No. 93	どうする、どう考える沖縄の学力 ～島を育てる学力をめざして～ 総合文化学部 人間福祉学科 教授 三村 和則 (実施方法: 対面／オンライン どちらも可)
	「全国学力テスト」の結果、沖縄県の子どもの学力の実態がわかるようになりました。全国比では当初、低迷し大きな格差がありましたが、小学校ではその課題が克服されてきています。中学校では課題が残されています。そこで、学力とは何か、学力の向上はなぜ必要か、「全国学力テスト」結果が明らかにしたこと、学力向上のために学校と授業だけでなく家庭、地域、行政ができること、しなければならないことは何か、学力向上と沖縄社会の未来像との関係など、わかりやすくお話しします。「全国学力テスト」やそのモデルになっている PISA の問題を実際に解いてみるができます。聴講者のニーズに応じ、焦点を変えてお話しすることができます。

No. 94	創造性を高めるにはどうしたら良いか？ 総合文化学部 人間福祉学科 准教授 山岡 明奈 (実施方法: 対面／オンライン どちらも可)
	新しいアイデアを生成したり、困難な問題を解決したりするためには、創造性を発揮することが求められる。本講義では、そもそも創造性とは何か、創造性が高い人はどのような人なのかを論じ、創造性を高めるためにはどうすればよいのかを心理学的な知見に基づいて講義を行う。創造性を高める要因としては、特に、感情状態、身体運動、そして、課題中に別のことをぼんやりと考えてしまう現象であるマインドワンダリングに着目する。